

令和7年度 第2学年 技術・家庭科（技術） 年間指導計画・評価規準

月	指導項目	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
5 6	生物育成に関する技術	生物育成に関する技術を利用して生物の育成を行う。	・生物を育てる技術の目的について理解している。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。	
6 7	生物育成に関する技術	生物の成長や育成環境に応じた技術を活用し育成環境を改善する	・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。	生物を育成するうえで生物の生態などに関連付けて考えることができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し活用している。	
7 9 10	エネルギー変換の技術	私たちの生活とエネルギー変換 ・電気エネルギーの利用について ・電気を安定的に供給する仕組みについて ・国内の発電方法について ・節電について	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。	・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・送電・配電の技術の工夫について考えている。	主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。	
10 11	エネルギー変換の技術	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。 ・エネルギー変換効率について知る。	エネルギーの変換効率などについて学び、エネルギーの変化される流れについて理解する。	身の回りの製品のエネルギー損失について考えることができる。	他の生徒と共にエネルギー変換効率について考え環境に配慮したエネルギー変換について主体的に考えを深め改善に取り組もうとしている。	

11 12	エネルギー変換の技術	エネルギー変換を利用した作品の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 ・エネルギー変換の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
1 2 3	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	HPの作成を通し、情報の発信者の責任を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。

2 学年 計35時間